

基本構想

1 基本目標

- 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子ども
- 生涯を通じて学び育つ、人間力あふれる新潟市民
- 自立した学びと開かれた学びを支援する学習環境

2 目指す方向

(1) 学校教育の方向

- ・自分の力に自信をもち、地域を誇れる子ども
- ・「授業力」「組織マネジメント力」「人間力」を備え、市民感覚に富んだ教師
- ・学校間連携と外部の力を活かした学校づくり
- ・地域・保護者・学校が共に学校教育を考える参画型のシステムづくり

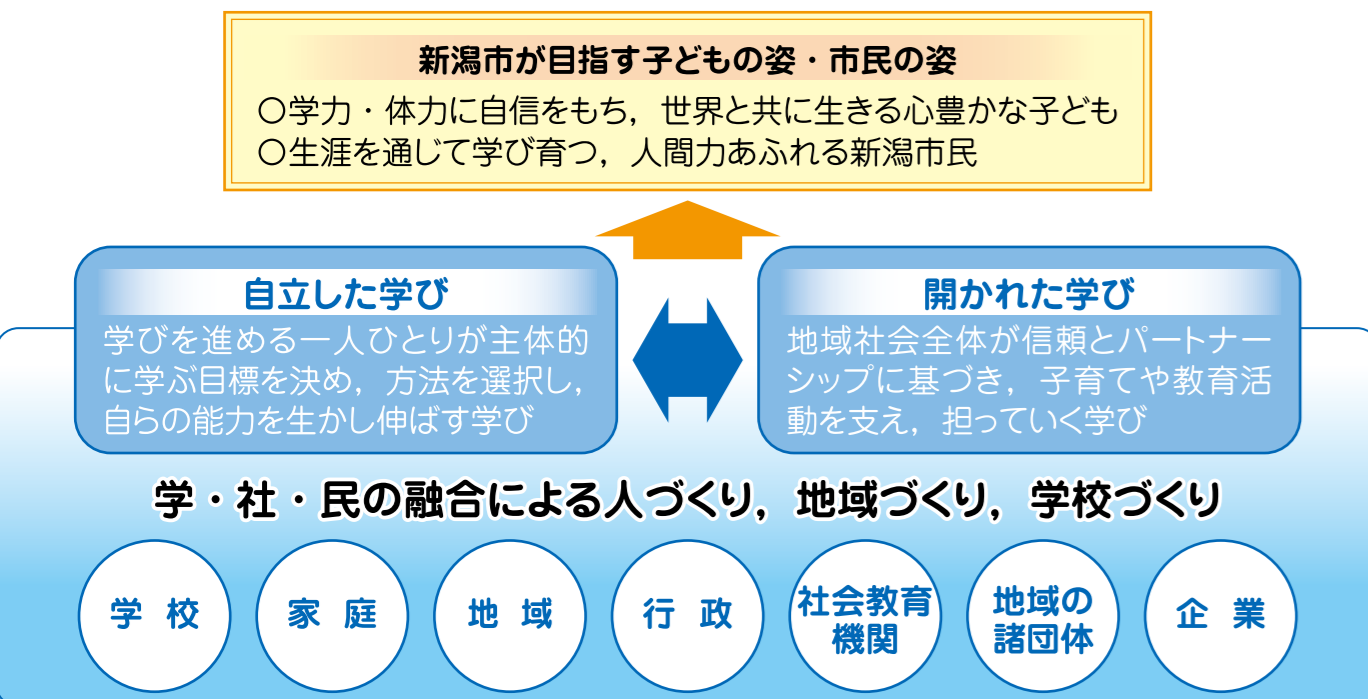
(2) 生涯学習の方向

- ・公民館をはじめ、生涯学習・スポーツ施設を拠点として、市民一人ひとりが生涯にわたり、学びを通して生きがいもてる住みやすいまちづくり
- ・学校の中への地域活動の拠点づくりの推進
- ・住民とパートナーシップをつくれる職員の資質向上及び専門職員の資格取得と自ら学ぶ力の形成

(3) 教育行政の方向

- ・生涯にわたる教育や学習に対するニーズと課題に対応する現場を重視した体制づくり
- ・学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり
- ・地域（区）の特色を磨き、伸ばす、学びと育ちへの支援

【教育ビジョン基本構想の構造図】



◆ 応援します！学校、家庭、地域ぐるみの実践 ◆

～こんな取組から始めてみませんか～

『早寝早起き朝ごはん運動』 『ノーテレビ・ノーゲームデー』

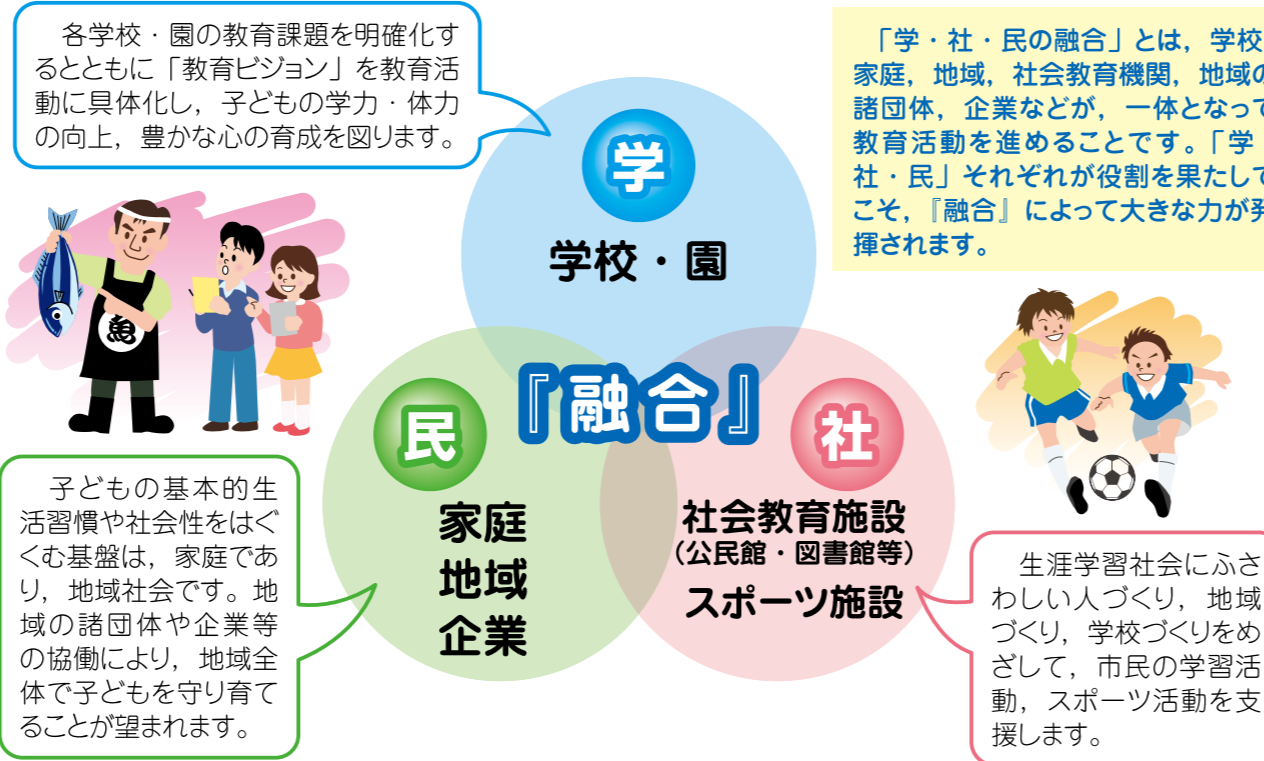
- ・生活リズムを整えれば、体力・気力が充実し、集中力が高まります。
- ・朝ごはんをしっかり食べれば、やる気が起きるし、根気も続きます。
- ・テレビやゲーム時間の制限により、家庭学習時間が確保され、就寝時刻が早まります。
- ・週に一度はテレビやゲームを止めて、家族の時間や読書の時間をつくりましょう。



「ノーテレビ・ノーゲーム」は、ご家庭の都合によりできるところから始めましょう。

例えば、**レベル①** 食事中はテレビ（DVD、ビデオ）を消す。
レベル② 夜9時以降はテレビを見ない、ゲームをしない。
レベル③ テレビやゲームは1日1時間まで。
レベル④ 家に帰ってからテレビを見ない、ゲームをしない。
レベル⑤ 一日中テレビを見ない、ゲームをしない。

教育ビジョンの実現に向けて



新潟市教育ビジョン 後期実施計画 概要版（第二版）

発行：新潟市教育委員会 教育総務課 企画室
 〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町 602 番地1
 TEL 025-226-3178 FAX 025-230-0401 E-mail somu.ed@city.niigata.lg.jp

市民が共に育つ 教育文化都市 NIIGATA

内容の詳細は、右記ホームページをご覧ください [新潟市ホームページ 教育〈学校〉から http://www.city.niigata.jp/](http://www.city.niigata.jp/)

新潟市教育ビジョン

後期実施計画 概要版 (平成22年～26年度)



平成22年3月
新潟市教育委員会

計画の概要

1 計画策定の趣旨

新潟市が目指すべき将来像を描く中で、次代の新潟を支え、世界にはばたく心豊かな子どもをはぐくみ、市民が学び育つ社会づくりのために、平成18年に「新潟市教育ビジョン基本構想・基本計画」（以下、「教育ビジョン」）を策定し、新潟市の教育の方向とあり方を明確にしました。さらに、平成19年3月に前期実施計画を策定し、平成19年度から21年度で実施する事業計画を体系的・具体的に示す中で、「教育ビジョン」に沿った取組を着実に進めてきました。

この後期実施計画は、前期の実施状況や社会情勢などを踏まえ、平成22年度から平成26年度で実施する事業計画を示したもので、次代の新潟市を担う人づくりを推進する指針とします。

2 計画の期間

実施計画の期間は、平成19年度から26年度までの8か年とし、前期（平成19年度～21年度までの3か年）、後期（平成22年度～26年度までの5か年）の計画とします。

3 計画の対象事業

教育委員会が現在所管している、市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校における教育と、幼児から高齢者までの生涯学習全般において、「教育ビジョン」の基本施策に基づいて取り組まれる事業を対象としています。

4 計画の構成

本計画は、「施策別計画」と「5つの『学びの扉』」により構成されます。

(1) 施策別計画

「教育ビジョン」では、14の基本施策を展開することとしています。施策別計画は、この14の基本施策を実現するために、計画期間に取り組む事業を62の施策別に分類したものです。

(2) 5つの「学びの扉」

「教育ビジョン」を具体化していくにあたり、後期実施計画の5年間（平成22年度～26年度）に重点的に取り組んでいく施策とそれぞれの方向を「5つの『学びの扉』」として示しました。

